

京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名

笠置町

2. 平成23年度 行財政改革支援等特別交付金事業の個別評価について

【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

事業分類	改革項目	事業名・実施項目							
小規模市町村支援	投資改革	町営住宅管理事業							
事業着手前									
課題・現状	現在笠置町の公営住宅は、建築してから相当年数が経っており、入居者等から住宅の建て替え等の要望はありますが、本町の財政状況では老朽住宅の建て替えは困難であるため、今後も安全面を最優先に必要な部分改修の必要性が生じています。								
事業概要	建築後相当年数が経過している当町の町営住宅は、所々修繕が必要となっています。住宅の実態把握に努め、安心・安全の観点から本年度では、緊急性の高い水回り修繕を中心に実施し、施設の長寿命化を図るとともに、長期的な経費の削減を図る。								
期待される事業効果等	新たに建て替えを行うには財政負担が大きすぎるため、緊急性の高い箇所の維持修繕を実施することで、入居者に快適な住宅環境の維持・提供を図るとともに、施設の長寿命化、長期的な経費の削減を図る。								
事業実績									
取組状況	町内にある公営住宅については、建築後相当年数が経過し老朽化が進んでいます。しかし、新たな建て替えや大規模修繕を行うには財政負担が大きすぎるため、住宅の実態把握に努め、安心・安全の観点から必要な維持修繕を進めるとともに、予防的な改修を進め施設の長寿命化を図るとともに、長期的な経費の削減を図る。								
主な実績数値 (出来高数値等)	町内にある町営住宅のうち、奥田団地8軒、後谷団地6軒、有市団地5軒の外壁補修、防水補修、トイレ改修及びトコ改修等の実施								
期待される事業効果等 に対する達成状況	達成	(左の理由)	補修工事等により住宅の長寿命化が図れた。						
計画数値の内容	建替費4億3千9百万円、残存年数が8年から13年の住宅41戸を長寿命化により30年に延長する								
年度	H23	H24	H25	H26	H27				
本事業を行わなかった場合に係る経費等(a)	15,675								
本事業の実績額(b)	1,640								
行革効果(a)-(b)	14,035								

(記載要領)

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、「達成」、「未達成」を記入し、その理由を右欄に記載すること。